

科目の年間授業計画

教科・科目	総合的な探究の時間<必修科目>		単位数 1 単位	履修学年(年次) 1年・2年(年次)
目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を解決していくための資質・能力(「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」)を育む。			
使用教材	交通安全教育、防災教育、性教育、薬物乱用防止教育、人権教育のビデオ等			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国内、国外のさまざまな環境問題を理解することができたか。 ・人権、健康について正しい知識を持ち、自己、他者を守るための行動ができるか。 ・郷土の産業、文化を正しく理解し、郷土に誇りと愛着を持てるようになったか。 ・環境、健康、人権について積極的な行動、討議に参加できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境問題をより広範な環境問題へと発展的に捉えられるか。 ・人権意識、健康に対する認識が高まっているか。 ・郷土産業の発展の背景を探究し、文化の形成を歴史的に探ろうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境を美しく保とうとしているか。 ・人権、健康について自己、他者ともに大切にしようとしているか。 ・郷土の産業、文化に興味、関心を持っているか。 	
評価方法	授業中の態度や提出物(アンケート、感想文、レポートなど)、発表などを通じて、自己の在り方生き方に関わる度合いや、自己の課題解決に関わる成長の度合いなどを評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	<ol style="list-style-type: none"> ①環境学習(学校の環境美化) ②健康学習(薬物乱用防止講話) ③人権学習(平和教育) ④交通安全講話 ⑤進路講話(キャリアガイダンス) ⑥生活体験作文 ⑦日本語学習 		<ol style="list-style-type: none"> ①校内・校外の清掃をし、環境美化に努める。 ②薬物の恐ろしさを知り、安易な誘いにのらないようにする。 ③生命の尊さと一人一人の人間の尊厳を学ぶ。 ④交通安全教育を通じ、交通ルールを守り、自分の命、他者の命を守ることを学ぶ。 ⑤現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考える。 ⑥生活体験作文に取り組むことにより、自己の生活の在り方を見直すきっかけ作りをする。 ⑦日本語の基礎学力の向上をめざす。 	
2	<ol style="list-style-type: none"> ①環境学習(学校の環境美化) ②人権学習(命の教育) ③安全安心学習(防災教育) ④郷土学習 ⑤租税学習 ⑥情報モラル学習 ⑦日本語学習 		<ol style="list-style-type: none"> ①校内・校外の清掃をし、環境美化に努める。 ②講演や講習会を通して、命についての考えを深め、命の大切さを理解する。 ③地震発生等で予想される様々な事象に対応する訓練を通して自分の命を守ることを考えるとともに、自らが被災した際にどのように行動すればよいのか具体的に考える。 ④地元企業の見学を通して、地元産業の理解を深め、将来の進路設計に役立てる。また郷土資料館等の見学を通して、郷土の歴史・文化の理解を深め、郷土を愛する心を育む。 ⑤税の意義や役割を正しく理解する。 ⑥ネットワークの特性や情報モラルの正しい使い方を身につける。 ⑦日本語の基礎学力の向上をめざす。 	
3	<ol style="list-style-type: none"> ①環境学習(学校の環境美化) ②人権学習(多文化共生) ③進路学習 ④消費者学習 ⑤日本語学習 		<ol style="list-style-type: none"> ①校内・校外の清掃をし、環境美化に努める。 ②自己の文化や価値と同様に、他の文化や価値を尊敬することを学ぶ。 ③働くことの大切さ、働くうえで重要なきまりやマナーを学び、現在および将来の進路設計に役立てる。 ④「契約」や「お金」、「暮らしの安全」等について学ぶ。 ⑤日本語の基礎学力の向上をめざす。 	
学習上の留意点	個々の学習において、自ら課題を見出し、その内容を自ら思考し、自ら解決の方向性を示すことができるように配慮する。			

科目の年間授業計画

教科・科目	総合的な探究の時間 <必修科目>		単位数 各学年 1単位	履修学年(年次) 3年・4年(年次)
目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を解決していくための資質・能力(「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」)を育む。			
使用教材	交通安全教育、防災教育、性教育、薬物乱用防止教育、人権教育のビデオ等			
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現)	(技能)	(知識・理解)
	・生活環境を美しく保とうとしているか。 ・人権、健康について自己、他者ともに大切にしようとしているか。 ・郷土の産業、文化に興味、関心を持っているか。	・身近な環境問題をより広範な環境問題へと発展的に捉えられるか。 ・人権意識、健康に対する認識が高まっているか。 ・郷土産業の発展の背景を探究し、文化の形成を歴史的に探ろうとしているか。	・環境、健康、人権について積極的な行動、討議に参加できたか。 ・企業見学、イベントに参加することにより、郷土の産業、文化を身近に感じる事ができたか。	・国内、国外のさまざまな環境問題を理解することができたか。 ・人権、健康について正しい知識を持ち、自己、他者を守るための行動ができるか。 ・郷土の産業、文化を正しく理解し、郷土に誇りと愛着を持てるようになったか。
評価方法	授業中の態度や提出物(アンケート、感想文、レポートなど)、発表などを通じて、自己の在り方生き方に関わる度合いや、自己の課題解決に関わる成長の度合いなどを評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	①環境学習(学校の環境美化) ②健康学習(薬物乱用防止講話) ③人権学習(平和教育) ④交通安全講話 ⑤進路講話(キャリアガイダンス) ⑥生活体験作文 ⑦日本語学習		①校内・校外の清掃をし、環境美化に努める。 ②薬物の恐ろしさを知り、安易な誘いにのらないようにする。 ③生命の尊さと一人一人の人間の尊厳を学ぶ。 ④交通安全教育を通し、交通ルールを守り、自分の命、他者の命を守ることを学ぶ。 ⑤現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考える。 ⑥生活体験作文に取り組むことにより、自己の生活の在り方を見直すきっかけ作りをする。 ⑦日本語の基礎学力の向上をめざす。	
2	①環境学習(学校の環境美化) ②人権学習(命の教育) ③安全安心学習(防災教育) ④郷土学習 ⑤租税学習 ⑥情報モラル学習 ⑦日本語学習		①校内・校外の清掃をし、環境美化に努める。 ②講演や講習会を通して、命についての考えを深め、命の大切さを理解する。 ③地震発生等で予想される様々な事象に対応する訓練を通して自分の命を守ることを考えるとともに、自らが被災した際にどのように行動すればよいのか具体的に考える。 ④地元企業の見学を通して、地元産業の理解を深め、将来の進路設計に役立てる。また郷土資料館等の見学を通して、郷土の歴史・文化の理解を深め、郷土を愛する心を育む。 ⑤税の意義や役割を正しく理解する。 ⑥ネットワークの特性や情報モラルの正しい使い方を身につける。 ⑦日本語の基礎学力の向上をめざす。	
3	①環境学習(学校の環境美化) ②人権学習(多文化共生) ③進路学習 ④消費者学習 ⑤日本語学習		①校内・校外の清掃をし、環境美化に努める。 ②自己の文化や価値と同様に、他の文化や価値を尊敬することを学ぶ。 ③働くことの大切さ、働くうえで重要なきまりやマナーを学び、現在および将来の進路設計に役立てる。 ④「契約」や「お金」、「暮らしの安全」等について学ぶ。 ⑤日本語の基礎学力の向上をめざす。	
学習上の留意点	個々の学習において、自ら課題を見出し、その内容を自ら思考し、自ら解決の方向性を示すことができるように配慮する。			